

平成 29 年度 第 3 回港南区協働による地域づくり推進協議会 開催報告

【日 時】	平成 29 年 11 月 2 日（木）12:00 から 14:00 まで
【場 所】	港南区役所 5 階 地域協働ルーム
【出席者】	藤田会長、五十嵐副会長、小清水委員代理、福山委員、比留間委員、二河委員、加賀委員、谷本委員、高柳委員、塩田委員、守分委員、齊藤委員
【議 題】	各団体の上半期の活動実績及び今後の活動予定について

【港南区協働による地域づくり推進協議会の概要】

区内の地域活動者や団体が、自治会町内会など身近な地域の中で連携できる関係を築き、地域での活動をより一層進めていくために、区内で活動する各団体の代表者と区役所と一緒に話し合い、情報を交換する場として、平成 26 年度から設置しています。



港南区連合町内会長連絡協議会（藤田会長：芹が谷）

● こうなん子どもゆめワールドをみんなの手で

11 月 4 日開催の「子どもゆめワールド」ですが、委員の皆さんにおかれましては、各団体がいろいろな立場で様々な役割を担っていただき、本当にありがとうございます。今回は新庁舎になって初めての開催です。区役所の裏口からふれあい公園につながるよう整備するなど人の流れにも工夫しましたので、皆さんも何かお気づきの点があれば教えてください。また、同日区役所で「ひまわり健康フェア」も開催されます。医師会の方々も参加いただき、皆で盛り上げていきたいと考えていますので、是非お立ち寄りいただければと思います。



● 横浜女子短期大学でのこどもフォーラム開催

今年度の「こどもフォーラム」は、横浜女子短期大学の御好意でホールをお借りして、12 月 9 日に開催することになりました。大きな会場で子供たちが活動した内容を一生懸命報告しますので、地域にも PR していただき、多くの皆さんに御来場いただけるよう呼びかけをよろしくお願いします。

また、区連会では毎年 12 月に施設見学会を開催していますが、今年は地区社協の皆さんもお誘いして東京ガスへ見学に行きます。安全システムなどを学び、災害時における対策などを教えていただこうと考えています。

港南区民生委員児童委員協議会（五十嵐副会長：日野第一）

● 地域における消費生活推進委員との連携

10 月は街頭での共同募金に協力させていただいたほか、民生委員制度創設 100 周年記念の全員研修で改めて個人情報とはどういうものか、どのようにうまく活用していくかなどについて学びました。また、日野第一地区では消費生活推進員に協力していただき、一人暮らし高齢者の食事会で振り込め詐欺防止の紙芝居をしていただきました。このような場を設けながらいろいろな方々と連携し、見守り・支えあいを進めていきたいと思っています。



● 「子どもたちが健やかに育つように」の思いをたすきに

「子どもゆめワールド」では、主任児童委員の皆さんが区の協力を得て、児童虐待防止のブースを出展するほか、11 月 12 日には「子どもたちが健やかに育つように」という思いのもと、オレンジリボンのたすきリレーで児童虐待防止の啓発活動を行います。たすきリレーでは港南区内も走りますので、皆さん是非応援していただければと思います。

12 月 1 日には、民生委員の欠員補充で 3 名が委嘱される予定です。まだ欠員がある地区については、引き続き自治会町内会長等の皆さんから候補者の情報をいただければ有難いです。

港南区社会福祉協議会（小清水委員代理：港南区社会福祉協議会事務局長）

● 買い物支援で生きがいづくり

引きこもりがちな高齢者の「生きがいづくり」として、買い物支援の取組を東永谷地域と日限山地域で行いました。東永谷では要支援の高齢者が参加し、デイケアセンターの送迎車を使って京急百貨店に買い物に行きました。日限山ではひざり連合自治会が「港南ひまわりプラン」の一環として、特別養護老人ホームの車両を利用して高齢者が高島屋に買い物に行き、1時間半ほど久しぶりの買い物を楽しみました。どちらも地域の方にボランティアとして支援に携わっていただき、高齢者と地域との交流も図ることができました。利用者の皆さんも生きがい、明日への活力を得ていたように思います。これらの取組は、豊かな生活をどう創るかという前向きな取組ですので、定期的に開催できるように協力したいと思います。



港南区地区社会福祉協議会分科会（福山委員：日下）

● 15 地区における福祉ネットワークの取組を共有

上半期は、新しく地区社協の会長になられた方もいらっしゃるの、地区社協がどのような組織なのか、連合町内会自治会との関わりをどのようにされているのかを話しあいました。また、住民参加型事業所やNPOの方たちと合同研修を行い、住民参加型とは何か、地域とどのようにつながっていくか理解を深めています。

下半期ですが、福祉ネットワーク事業について、日下地区の場合は、一人暮らし高齢者の草取りやゴミ出しなど高齢者の見守り・支えあいをテーマに動いています。分科会では福祉ネットワーク事業と合同研修を行い、15 地区でどのように活動し、地域とつながっているかを学びあいたいと思います。



港南区保健活動推進員会（比留間委員：野庭団地）

● 第2期健康横浜 21 の基本理念を実現するために

今年は「第2期健康横浜 21」の5年目、中間点なので振り返りをし、今後どうすべきか考えています。「全ての市民が生活習慣の改善や生活習慣病の重症化を予防したりすることによって、いくつになってもできるだけ自立した生活を送れる人を増やす」という基本理念の実現を目指しています。設定した行動目標のうち、食生活、歯、喫煙飲酒の分野では各世代ともほぼ「概ね順調」に目標に近づきつつあるのに対し、休養・こころの分野では、全ての世代が目標に到達していません。がん検診、特定健診の普及もまだまだです。健康づくりには、全ての世代に関連する関係団体、企業、地域などと連携していくことが大切です。

小学生を対象にした禁煙教室は昨年度で港南区の全ての小学校を一巡しましたが、更に進めていきたいと考えています。

また、11月4日の「ひまわり健康フェア」では、新しい試みが楽しみです。



港南区青少年指導員協議会（二河委員：日野）

● 地域活動活性のために改選への協力を

下半期の青少年指導員の主だった活動としては、「子どもゆめワールド」や「こどもフォーラム」のほか、『成人の日』を祝うつどいや「港南ひまわりウォーク」などがあります。ほかの団体と連携が取れるチャンスが多くありますので、地域とのつながりづくりや活性化に努めていきたいと思います。

また、今年度は改選期でもあります。前回の改選では人数が2割減となり当初苦労した記憶がありますので、自治会町内会には御迷惑をおかけしますが、活動を活発化させるためにも多くの方を選出いただければと思います。

● 青少年指導員制度 50 周年の記念誌作成

青少年指導員制度が 50 周年を迎えます。3月の記念大会で青少年指導員全員に配布するため、現在、記念誌も作成しています。オールカラーで作成しておりまして、この会でもお見せしたいと考えておりますので、お楽しみにしてください。



港南区消費生活推進員の会（加賀委員：永谷）

● 地域の消費生活推進員への声掛けを

消費生活推進員の活動が徐々に地域に入って進められてきたと実感しています。地域での啓発は、地域の方々の協力がなければ難しいので、皆さんの協力をいただきながら一緒になって進めています。地域によっては活動を行う体制が十分に整っていないところもありましたが、近隣の推進員の協力を得ることで、うまく進められたという報告もありました。

地域の中で各団体の皆さんにイベントなどに誘っていただけたら、その枠組みの中で紙芝居などによる啓発活動もできますので、是非お声を掛けていただけたら嬉しいです。

● 環境事業推進委員・ヘルスマイトとのエコクッキング

現在、子どもゆめワールドに向けて準備を進めています。11月15日には環境事業推進委員、ヘルスマイトの皆さんと一緒にガス展に行き、エコクッキングを開催して無駄のない食材の使い方や資源のエコについて学んでまいります。



港南区スポーツ推進委員連絡協議会（谷本委員：港南台）

● 会員の確保と負担軽減に向けて

今年度から改めて新任27名を含めた総勢158名のメンバーで第31期の活動を始めました。やはり10年前と比較すると、会員が高齢化で退会する分、新しい人が入ってこないのが全国的にも減少しています。事業も多いため、会員数が減ると動員回数も増え、会員の負担が増えます。そのため、会員数の確保が何よりも重要と考え、今期に入っても勧誘活動を積極的に行うことで現状では前期とほぼ変わらない会員数となっています。

● 来年度40回目を迎える港南区健康ランニング大会

上半期は「世界トライアスロン選手権横浜シリーズ」や「港南区民陸上競技大会」など様々なイベントに運営協力したほか、8月には宮城県大崎市と港南区の小学生による2泊3日の「ひまわり生活体験交流」にも参加しました。下半期の予定ですが、11月には昨年につき「港南区スポーツ推進委員全体研修会」として各地区からチームが出場してグランドゴルフ体験大会を開催、各会員が運営ノウハウの習得を目指します。12月には衆議院選挙で延期になった「ファジーバレーボール大会」、1月に開催される「港南区健康ランニング大会」は来年度40回目の節目を迎えます。盛大に開催したいと今からいろいろと考えておりますので、開催時には是非参加、協力をお願いします。



港南区環境事業推進委員連絡協議会（高柳委員：日野第一）

● 「食」につながる部分での連携

環境事業推進委員は「食品ロスの削減」を大きなテーマとして、身近な「もったいない」を減らす取組を進めています。11月に消費生活推進員とヘルスマイトの皆さんと一緒にエコクッキングで無駄のない食材の使い方や資源のエコについて学んでいくなど「食」につながる部分で、今後もここにいる皆さんと一緒に活動していきたいと考えています。

食品ロスについては消費者自身が責任の一端を担っており、家庭では約282万トンの食品ロスが毎年出ている一方で、食糧難の方もいるので、ロスをなくすと同時に食糧難の方の食糧が確保できればと思います。地域で食品ロスについてお願いをしてもなかなか難しく、一人ひとりの気持ちが大事だと思います。ゴミの分別もまだまだなところが多いので、皆さんと一緒に環境についてPRしていき、一人ひとりの意識が環境改善に向けられればと思います。



港南区シルバークラブ連合会（塩田委員：野庭団地）

● 結果よりプロセスを大切にしたい

上半期の会員数ですが、新たに1クラブ創設されたこともあり201名の方が加入され、転居等による脱会を差し引いても5年ぶりに増加となる見込みです。増加はもちろんです、200名以上の方々に加入いただいているというところを評価していきたいと考えています。

区内のシルバークラブでは年間30事業を行っており、準備なども含めるとほぼ毎日どこかで活動が行われています。何名参加したという結果より、こういうことをやっていますということをしっかり発信することと、それまでのプロセスを大事にしてくださいと伝えています。

● シルバークラブのPRに協力を

最近、様々なイベントで色々な方々とお話しする中でシルバークラブの存在を知らない方が非常に多くいらっしゃるのことが分かりました。皆さんにもシルバークラブの活動内容や加入のPRに是非協力いただければと思います。そういうことで高齢者が増えたときに横のつながりが更に強化されるのではないのでしょうか。

下半期の活動ですが、認知症サポーター養成講座を年末に400人、3月にも友愛会員300人を対象に行います。それ以外にもスポーツ大会や囲碁・将棋大会などを行っていく予定です。



港南区食生活等改善推進委員会（ヘルスメイト）（守分委員：永野）

● 若いお母さんたちに食の大切さを伝えていきたい

高齢化に向けた問題、障害者に対しての取組、この2つをしっかりと考えなければと思います。特に、高齢化でこれから在宅介護が進んでいく状況で、家庭での介護食をどうするかという問題が出てくるでしょう。ヘルスメイトは講師をお迎えして研修し、得たものを地域での啓発活動へつなげます。もう1つは、「いざというときの食」ローリングストックの推進ですが、今年も多く地域から御要望をいただいています。この活動はその地区のヘルスメイトが地域の皆さんと協力をしながら活動しています。来年はこれらに加え、若いお母さんたちを対象に子供たちの食の大切さを伝える活動を考えています。

● 港南ふれあいウォーキング

11月19日に「港南ふれあいウォーキング」が開催されますが、皆さんにも是非PRしていただきたいと考えています。今回の6キロコースは、ふれあい公園から上大岡を回り久良岐公園に行き、ふれあい公園に戻ってくるというコースです。これからも「港南区を知る」コースを考えていければ良いと思います。

また、この協議会についてですが、皆さんの団体がどのような活動をしていくのかを共有するだけでなく、何か一緒にできるような目標があると具体的な連携に結び付くのかなと思っています。そのような切り口で皆さんとお話しあいできればと考えています。



港南区役所（齊藤委員：港南区長）

● 日頃から近所での見守り・支えあいを

日頃より様々な地域活動に御協力いただき、本当にありがとうございます。区役所では災害時に支援が必要な方への支援についてお話しをさせていただいていますが、大切なのは日頃から声をかけあうなどの近所での見守り・支えあいだと思います。今日の会議のように皆さんの活動状況を知り理解し、少しずつでもつながり、皆で助けあっている地域づくりを港南区全体で進めていきたいと思っています。

● 区政50周年に向けて

港南区も平成31年10月に50周年を迎えます。毎年、皆さんの活動がより良いものとなっていることが実感していただけるような機会にしたいと思っています。引き続き、皆さんや地域の方々に御協力をいただきながら、港南区全体を盛り上げ、ふるさと港南を作っていきたいと考えています。

